



移動電話に関する市場調査報告書

～ MVNO・M2Mによる市場変化の兆し ～

移動電話WG(総合企画部)

移動電話WGでは、移動電話の市場動向の把握、業界自主統計の整備、市場における課題の把握と対応や新規需要の創造および市場育成を目的として活動を行い、その結果を本報告書にまとめました。

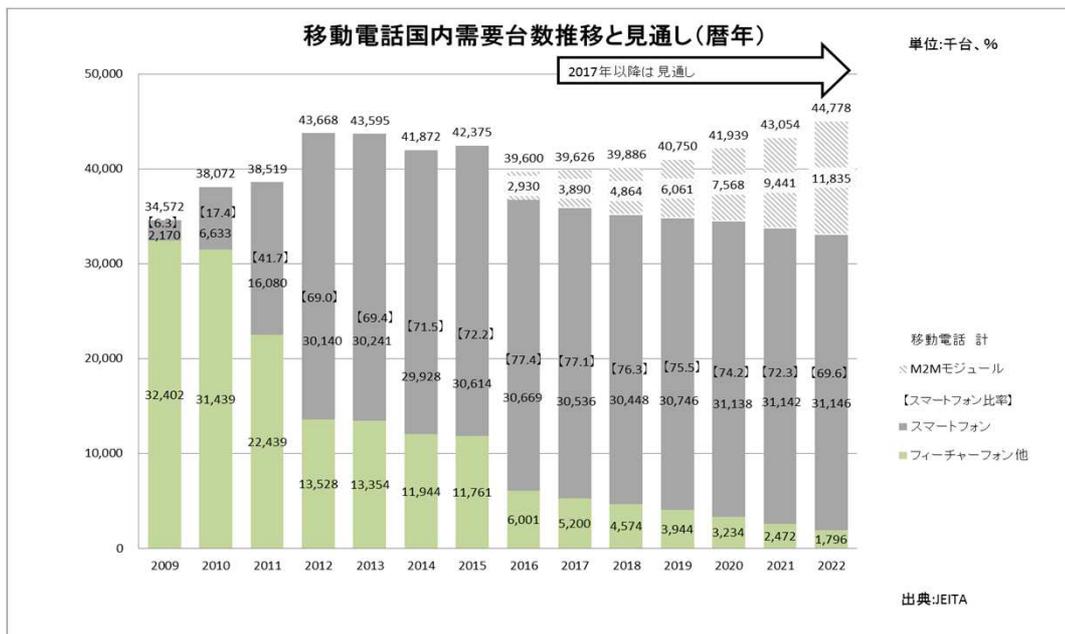
業界自主統計だけでは把握できない国内需要台数を推計するとともに、2022年までの見通しをまとめています。また、本WGで実施した販売店調査や専門家ヒアリングなどの調査結果より浮かび上がった市場の課題を整理しています。本誌が皆様のお役にたてば幸いです。

背景

2010年以降、スマートフォンの急速な市場拡大、そしてLTEサービスの開始により、高速通信環境は急速に拡大し、様々なサービスが広がった。また、格安SIMサービスの認知度向上や、SIMフリー義務化など、携帯電話市場は絶え間なく変化している。更に、移動電話端末は急速な発展を続けるクラウドコンピューティングや、今後訪れるであろう「モノのインターネット (IoT : Internet of Things) 時代に、その入口を担う端末として大きな期待が寄せられている。

国内需要台数推計と2022年までの見通し

統計参加外企業を含めた2016年における日本市場全体の需要台数は、39,600千台、前年比93.5%とマイナスとなった。うち、スマートフォンは30,669千台、前年比100.2%、スマートフォン比率は83.6%となった。2017年以降の国内需要台数は徐々に増加し、2022年には44,778千台、スマートフォン比率は94.5%に達するものと見通した。2015年にはSIMフリーやMVNO (Mobile Virtual Network Operator 仮想移動体通信事業者) を背景とした格安スマートフォンが登場してきているなかで認知度の向上、2016年には、今後市場の拡大が見込まれるウェアラブルデバイスやIoTとネットワークを繋ぐゲートウェイとしての用途拡大が期待され、2017年以降はIoT市場拡大に伴うM2Mモジュールの需要が伸びていくと思われる。



世界市場における移動電話の現状と将来に関する調査

2017年の移動電話の世界生産台数は17億4,928万台、前年比101.0%と見通した。また、スマートフォン比率については8割を越える見通しである。先進諸国においては、中国メーカーによる中・高機能端末の低廉な価格での市場投入や、インド、インドネシア等の新興諸国ではローカルメーカーによる廉価版スマートフォンの市場投入により台数は増加すると思われる。

販売店調査・日本市場の課題調査

販売店調査の結果、「iPhone」のブランド力は圧倒的であるということ、そして買い替えパターンはスマートフォンからスマートフォンが中心であるが、安価な料金体系等により、フィーチャーフォンからフィーチャーフォンへ買い替えるユーザが一定数おり、特に年配層には普及している。更に、操作方法などを教えることでお客様の取り込みも図っている店舗がみられた。

また、昨年よりも格安スマートフォン・SIMの影響が見られ、異業種からのスマートフォン市場へ参入する企業が増えたことで、料金の安さ、端末種類の増加やサービスの拡充により、買い替えユーザが増えており、今後の動向が注目される。

刊行案内・目次

書 名: 移動電話に関する市場調査報告書 ～MVNO・M2Mによる市場の兆し～

- サイズ : A4判60頁(2017年3月)
- 頒 価 : 一般 21,600円/会員 10,800円(税込)
- 発 行 : 一般社団法人 電子情報技術産業協会
- 編 著 : 移動電話WG

毎年3月下旬に刊行予定

目 次:

- | | |
|------------------------------|------------------------------|
| 第1章 調査の概要 | 第4章 移動電話を取り巻く日本市場の現状に関する調査 |
| 第2章 日本市場における移動電話の将来に関する調査 | 4.1 販売店の現状調査 |
| 2.1 調査の概要 | 4.2 日本市場における移動電話の課題に関するヒアリング |
| 2.2 移動電話の日本市場(内需)動向 | 第5章 まとめ |
| 2.3 携帯電話の国内出荷(統計実績)動向 | 5.1 2016年度調査のまとめと考察 |
| 2.4 公衆用PHSの国内出荷(統計実績)動向 | 5.2 移動電話市場に関する課題 |
| 2.5 日本市場におけるトピックス | 5.3 今後の活動 |
| 第3章 世界市場における移動電話の現状と将来に関する調査 | |
| 3.1 調査の概要 | |
| 3.2 移動電話の世界市場動向 | |
| 3.3 世界市場におけるトピックス | |